

科目名	医学概論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 前期
【授業の目的・ねらい】 医療人である前に、一人の人間として命とは何かを考える。その上で今後医療人として直面するであろう場面想定し、患者や周囲のスタッフから信頼される医療人とはどうあるべきかを学ぶ。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 生命を扱う医療職として、最低限必要な生命、医学に関する基本的知識について解説する。 グループワークにて様々な状況におかれた際の判断を討議する。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①医療の役割と自らの職業観を養い、社会貢献について簡潔に述べることができる。 ②医療人として遵守すべき事柄と高い倫理観と社会的責務を理解する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	医療・医療職とは						教科書
2	医療・医学の歴史、医療倫理						教科書
3	患者の権利とインフォームドコンセントについて考える						教科書
4	個人情報保護法と守秘義務について理解する						教科書
5	わが国の新しい医療システムについて学ぶ						教科書
6	尊厳死、安楽死と自殺の問題について考える						教科書
7	災害医療とトリアージと患者の想いを学ぶ						教科書
8	脳死と移植医療について学ぶ						教科書
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・医学概論、日野原重明、医学書院 ・臨床工学技士標準テキスト第3版、小野哲章、金原出版株式会社							
【準備学習・時間外学習】 講義ごとに十分な振り返りの時間を設けること。 自分の言葉で説明できるようにまとめノートを作成すること。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を60点、小テストを10点、定期試験を30点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							